

平成30年度「脱フロン・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業」CO2削減効果 記入表

令和3年度 実績

補助事業者名	丸善製菓株式会社	実施場所	大阪府大東市平野屋新町2番1号	報告日	令和4年4月8日
補助事業の名称	脱フロン・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業			事業番号	環補30013
連絡先 所属・氏名		TEL	072-871-5656	e-mail	maruzen.somu@khh.biglobe.ne.jp

	初年度実運転期間 開始:H31年02月01日 終了:H31年03月31日	CO2換算量 (ton/年)				累計 CO2換算量 (ton)	備考
		CO2換算量 (ton/実期間)	H30年度 (2018)	H31年度 (2019)	R02年度 (2020)		
完了実績報告書に 記載した削減計画値	① エネルギー起源CO2量(比較対象フロン冷媒機器 or 撤去した機器)	12.2	75.8	75.8	75.8	239.6	
	② エネルギー起源CO2量(省エネ型自然冷媒機器)	6.8	42.2	42.2	42.2	133.4	
	③ エネルギー起源CO2削減量(①-②)	5.4	33.6	33.6	33.6	106.2	
	④ 冷媒漏洩CO2換算削減量	16.2	100.4	100.4	100.4	317.4	比較対象フロン冷媒機器 or 撤去した機器 との差
	⑤ 合計削減量(③+④)	21.6	134.0	134.0	134.0	423.6	
削減実績値	⑥ エネルギー起源CO2量 実測値	4.1	25.7	30.7	34.3	94.8	
	⑦ エネルギー起源CO2削減量 (①-⑥)	8.1	50.1	45.1	41.5	144.8	
	⑧ 合計削減量(④+⑦)	24.3	150.5	145.5	141.9	462.2	
排出削減量の差(⑤-⑧=⑥-②=③-⑦)		-2.7	-16.5	-11.5	-7.9	-38.6	

1. 初年度は、実運転期間と実測結果を記入の上、実測データ・計算式等を記載した説明書ならびに根拠(エビデンス)を添付してください。(計画値も実運転期間に合わせた値としてください)
2. 次年度以降は、年間の計画値と実測値を記入の上、12カ月の実測データ・計算式等を記載した説明書ならびに根拠(エビデンス)を添付してください。
3. 報告年度に係わらず、本表には初年度からの報告済数値を必ず記載してください。(初年度の報告は初年度のみの記載となります)

特記事項(報告年度の削減計画値と削減実績値とに格差(排出削減量の差)が生じた場合は、その理由について具体的に記入してください)

目標削減量134.0tonのところ削減実測値141.9tonとなり、+7.9ton(105.8%)の削減量となりました。
 昨年度よりも少し削減量が減少したのは、新商品開発に伴う受注量の増加により操業時間が増加したことが要因と考えられます。
 本事業により導入しました省エネ型自然冷媒機器の目標削減量は達成できています。
 来年度以降は新商品の開発が完了し受注量が安定推移するものと推察され、排出削減量の増加が期待できます。